

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名	No. 560104	往診歯科治療事業				主管課名	健康推進課				
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし				課長名	加納 公明				
		施策	生涯健康で安心して暮らし続けられるまち									
		基本事業	成人保健対策の充実									
	(1)事業の概要											
	通院不可能な寝たきり老人等に対する往診歯科治療が円滑に実施されるよう、歯科医師への連絡調整および往診歯科治療用の器械の貸し出しを行う。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)					
							名 称		単 位			
							往診歯科治療を希望した人の数		人			
							その指標					
	(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		往診歯科治療用器械の使用を希望する歯科医師に対し、器械の貸し出しを実施。									
26年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容	平成 2 5 年度で事業廃止									
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)						
通院不可能な寝たきり老人						名 称		単 位				
						通院不可能な寝たきり老人の人数		人				
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)						
口腔内状態の改善を図ってもらう						名 称		単 位				
						口腔内の状態が改善した人数		人				
(4)結果(上位基本事業の意図)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)						
健康に暮らしてもらう						名 称		単 位				
						健康づくり事業の延参加者数		人				
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単 位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値				
(5)の活動指標		人	2	0								
(6)の対象指標		人	120	126								
(7)の成果指標		人	2	0								
(8)の結果の成果指標		人	1,872	2,032								
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	04	項	01	目	02
(11)コスト		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単 位	4	0	0	0	0	0				
A	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0				
		県支出金	千円	0	0	0	0	0				
		地方債	千円	0	0	0	0	0				
		その他	千円	0	0	0	0	0				
		一般財源	千円	4	0	0	0	0				
人件費 B		千円	19	19	0	0	0					
正職員従事時間×人数		時間×人	5 × 1	5 × 1	×	×	×					
正職員以外の人件費		千円	0	0	0							
その他費用 C		千円	0	0								
トータルコストA+B+C		千円	23	19	0	0	0					
単位あたりコスト		千円/ 人	0	0								
(トータルコスト / (6)の対象指標)		千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 560104 往診歯科治療事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 昭和63年度 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？ 高齢化社会を迎え、通院不可能な寝たきり老人が増加するに伴い、往診歯科治療に対する需要が増加し、昭和61年度より豊田加茂歯科医師会が往診歯科治療を開始。事業を円滑に実施するため、平成8年に市備品として往診用器械を購入し、貸し出しをするとともに、市歯科衛生士による連絡調整を開始。	往診歯科治療用器械の老朽化（耐用年数を6年超過）により、故障が多くなっているが、交換部品の製造が終了し、部品交換の必要が出た場合は対応できない状況となっており、安全に治療を実施するには問題がある。
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化し 対象者は年々増加しているが、器械の貸し出し件数は減少している	

3 評価（SEE） 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 自治事務	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 なし この事務を行う根拠又は理由		
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	結びつく 結びつかない	理由		
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	できる できない	拡大 縮小	内容	
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充（意図の段階は正しいか）又は絞込み）はできませんか？	できる できない	追加 拡充 絞込み	内容	
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない		理由又は内容	今後は歯科医師会が往診歯科治療用器械を整備し、関連事業にて市が補助をするため。（H25年度に新規に1台整備）
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない		理由又は内容	豊田加茂歯科医師会が会の備品として器械の整備を進めたことから、貸し出し件数が年々減少しているため。
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある ない	庁内事業 庁外事業	類似事業との再編の可能性	類似事業名 560109 7022推進事業 ある ない
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？（仕様や工法の変更、住民の協力など）	ある ない		内容	
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？（従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？）	ある ない		内容	
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある ない	現状で適正 検討が必要	内容	

4 改革改善案（PLAN）	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	未評価年度	事業費の方向性	未評価年度	成果の方向性	未評価年度
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	平成25年度で事業廃止 往診歯科治療用器械の老朽化のため、安全に治療を実施することが難しくなった。また、豊田加茂歯科医師会が会の備品として器械の整備を進めたため、貸し出し希望が年々減少していることから事業を廃止しても影響はないと思われる。 今後は、豊田加茂歯科医師会が往診歯科治療用器械を整備する場合に「歯・口の健康づくり推進事業補助金」のなかで豊田市との人口按分にて補助をしていく。					